



Endeavor™

OWNER'S MANUAL

10'x10'
(3.0 m x 3.0 m)

10'x15'
(3.0 m x 4.5 m)

ezup.com

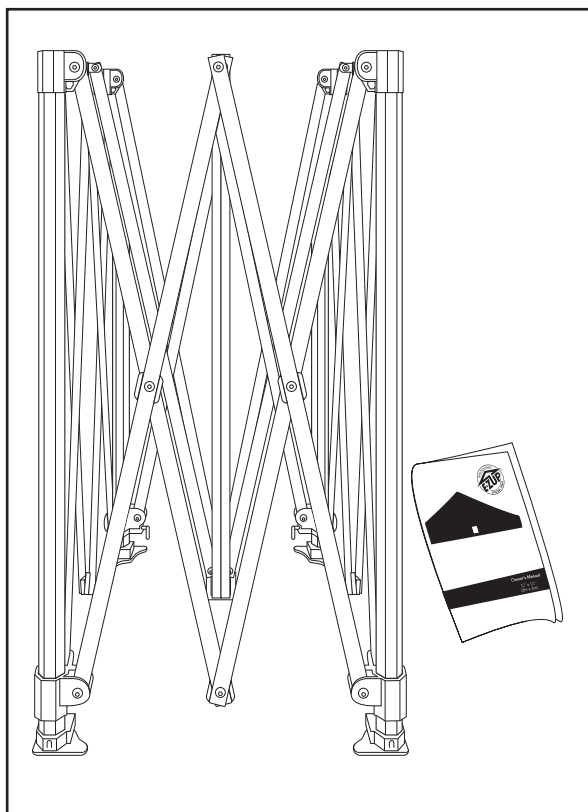
パッケージ内容

エンデバー

3.0 m x 3.0 m

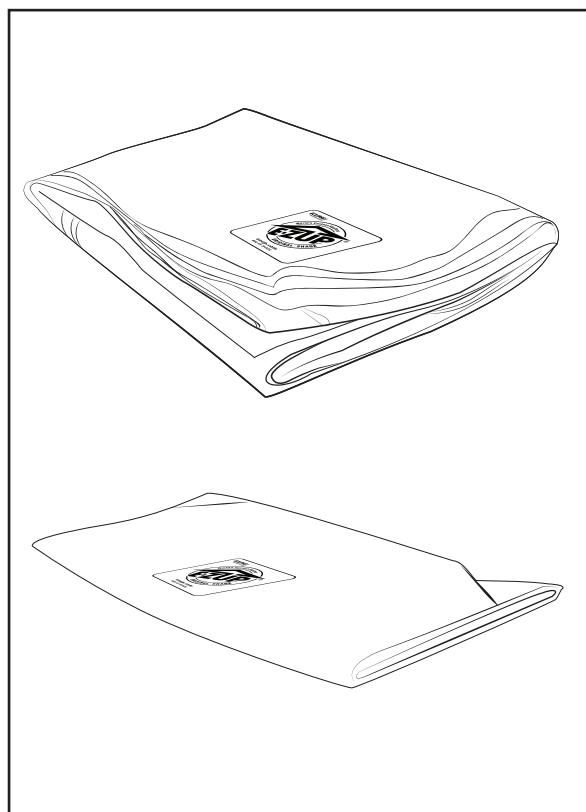
3.0 m x 4.5 m

テントは2つの箱に梱包されています。



フレームボックスの内容

フレーム
取扱説明書
収納カバー
杭
シリコンスプレー
天幕取り付け工具



天幕ボックスの内容

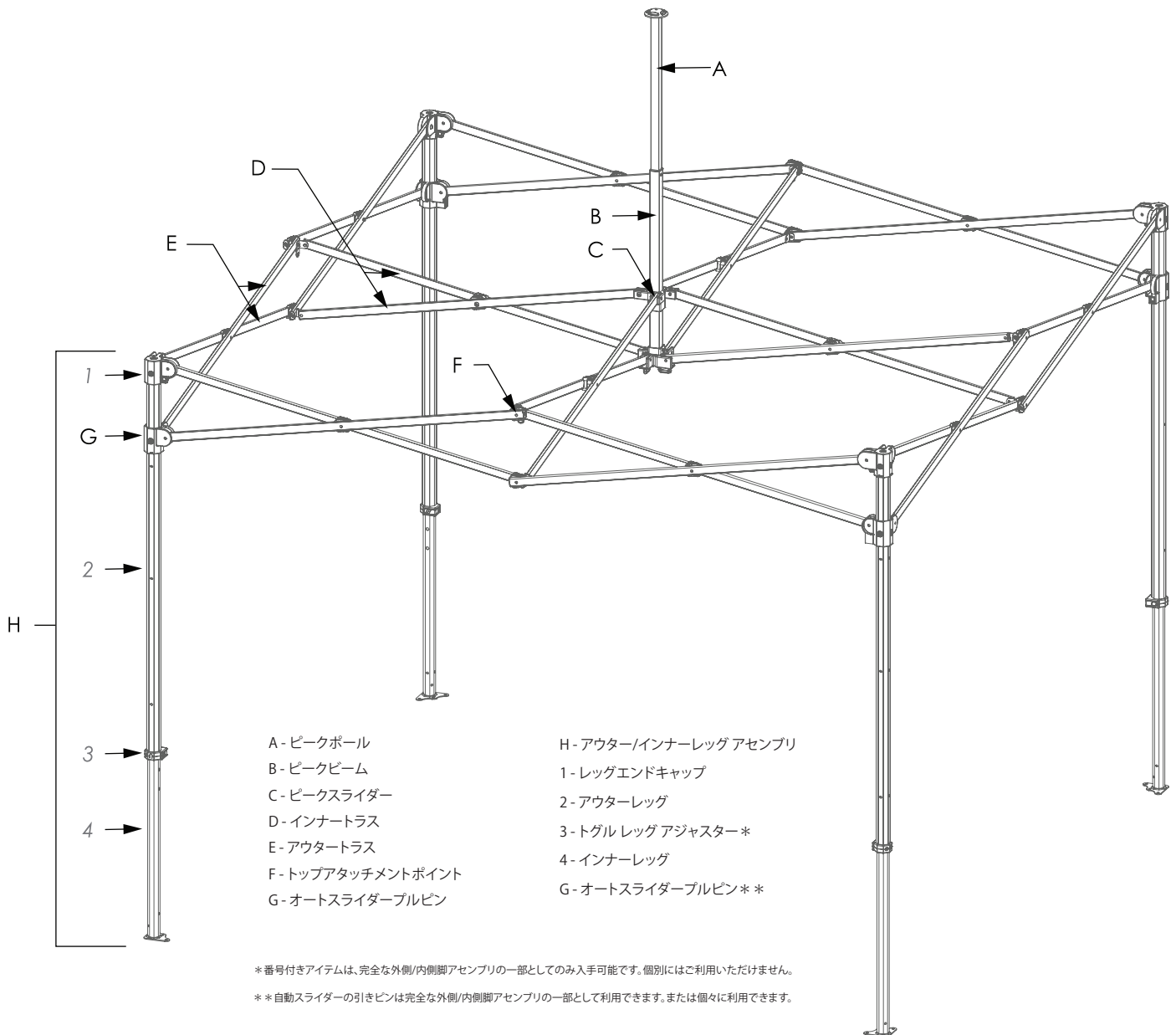
天幕
収納カバー

お問い合わせ先
株式会社来夢
〒513-0836
三重県鈴鹿市国府町7669-44
TEL:059-378-6648
mail : info@raimu-jp.com

パーツについて

エンデバー 3.0m×3.0m

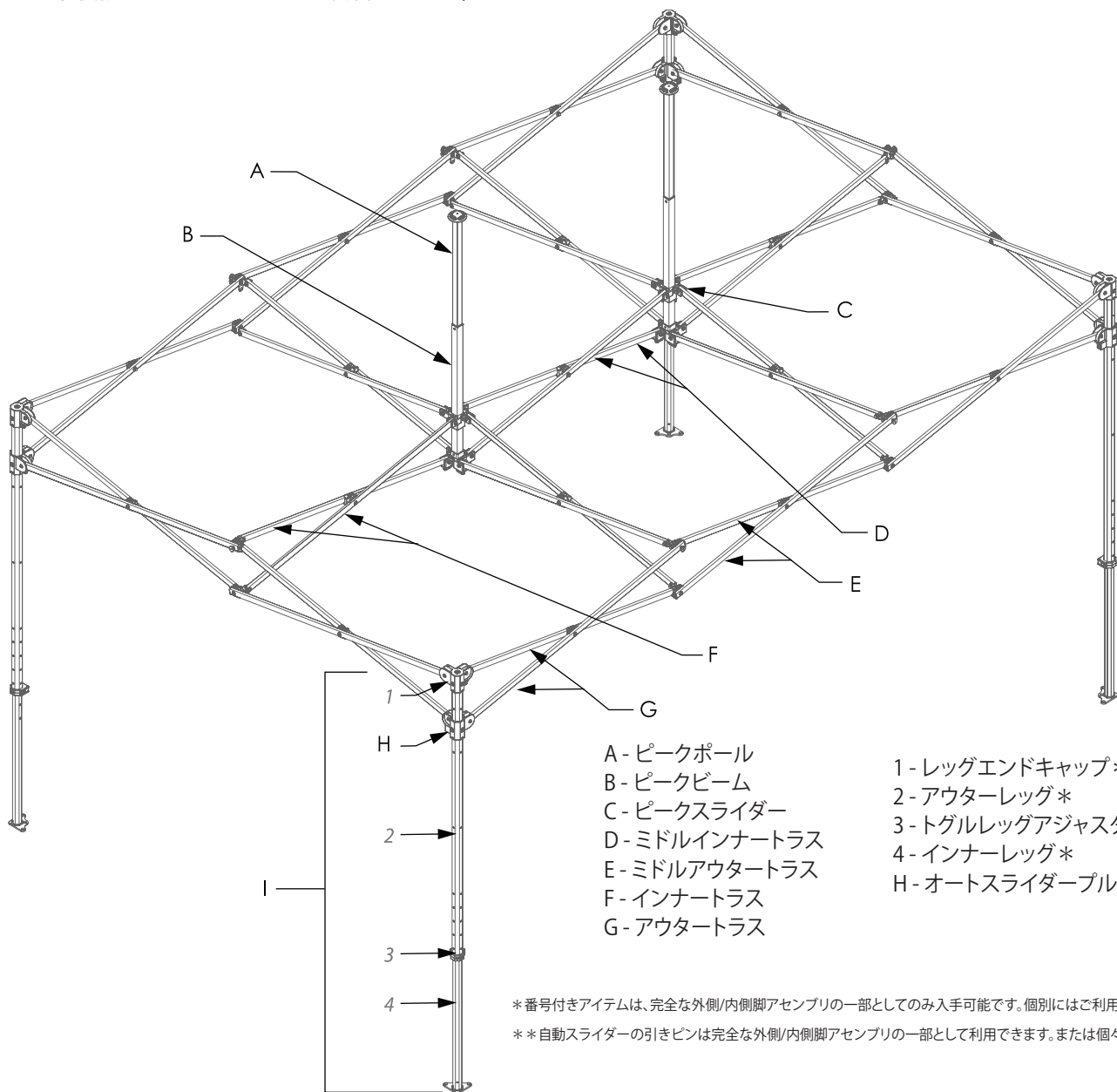
イージーアップの各パーツは、ボルト及びナットで結合されていることにより、破損したパーツをご自身で交換できます。
有償修理も承っていますのでお問合せください。



パーツについて

エンデバー 3.0 m x 4.5 m

イーザーアップの各パーツは、ボルト及びナットで結合されていることにより、破損したパーツをご自身で交換できます。有償修理も承っていますのでお問合せください。



- A - ピークポール
- B - ピークビーム
- C - ピークスライダー
- D - ミドルインナートラス
- E - ミドルアウトートラス
- F - インナートラス
- G - アウタートラス

- 1 - レッグエンドキャップ*
- 2 - アウターレッグ*
- 3 - トグルレッグアジャスター*
- 4 - インナーレッグ*
- H - オートスライダープルピン**

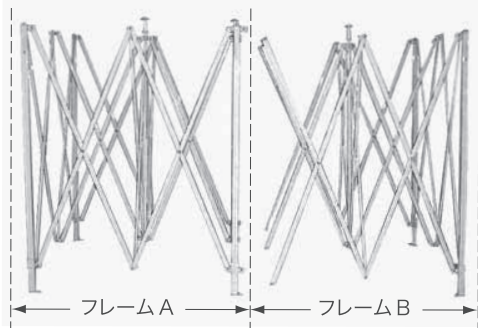
* 番号付きアイテムは、完全な外側/内側脚アセンブリの一部としてのみ入手可能です。個別にはご利用いただけません。
** オートスライダーの引きピンは完全な外側/内側脚アセンブリの一部として利用できます。または個々に利用できます。

STEP 1 設営前準備

※《3.0m × 6.0m》の場合は、まずフレームを合体してください。

フレーム「A」と「B」の合体

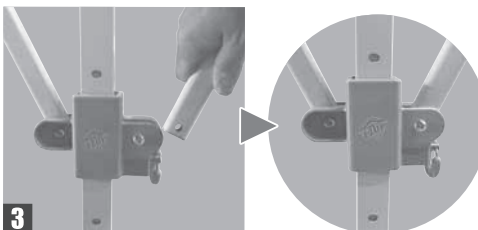
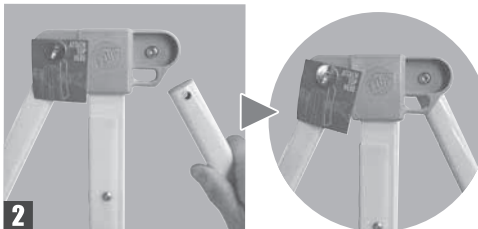
1 平坦な場所にフレームAとBを置き、合体します。



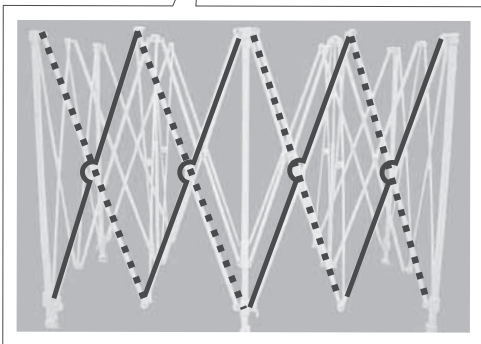
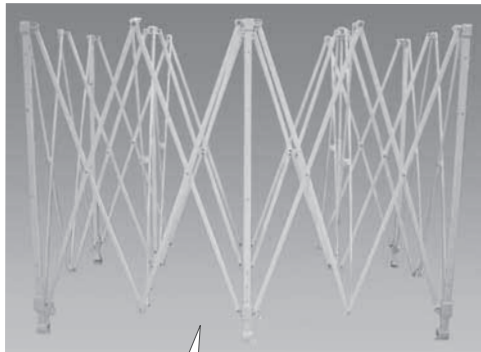
1 両フレームを半開きにして、向かい合わせてください。

フレームAの数字の部分にボルトとナットが付いています。

2 付属のレンチを使い、ボルトでフレームを6ヶ所組み付けます。組み付け順は、中央の上部から始め、数字の順に進めてください。



4 完成



— テントの外側
 テントの内側 でクロスします。

正しい付け方



誤った付け方



※《2.5m × 2.5m》《3.0m × 3.0m》《3.0m × 4.5m》の場合は、ここから始めてください。

天幕をフレームに固定

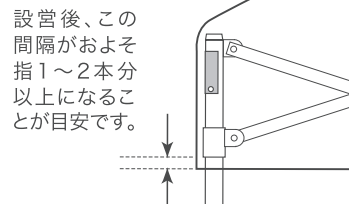
設営する前に、フレームに天幕を固定します。大人二人で作業してください。



1 平坦な場所で、フレームを半分ほど開き、天幕をフレームにかぶせてください。



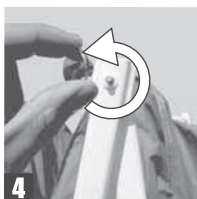
2 天幕角裏面のマジックテープを、支柱上部のマジックテープと仮合わせしてください。



設営後、この間隔がおおよそ指1~2本分以上になることが目安です。



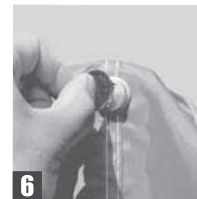
3 天幕をフレームに固定します。まず、赤い紙が付いている場所を確認してください。



4 ナットを外して、赤い紙を破棄します。



5 天幕をかぶせ、ハトメ穴を通して、ナットを締め直してください。

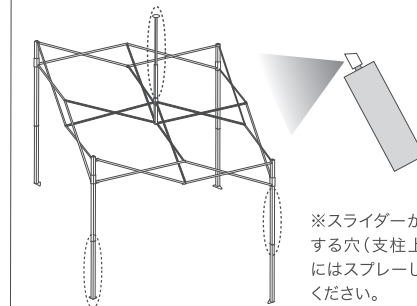


6 付属の六角レンチとワッシャーで、きつく締めてください。

シリコンスプレー

○印の部分に噴きかけると、スライドがしやすくなり、フレームの開け閉めが簡単になります。特に梱包から取り出した直後の新品フレームには、噴きつけることをおすすめします。

注：各支柱の4面に噴きつけてください。



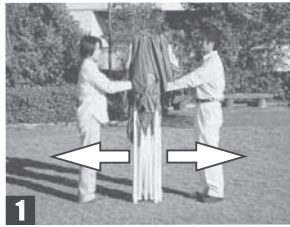
※スライダーがロックする穴(支柱上部側)にはスプレーしないでください。

【シリコンスプレー/別売り】

SS-L (大 : 420ml) ¥1,000 (税別)

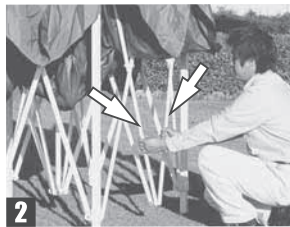
SS-S (小 : 100ml) ¥800 (税別)

STEP2 設営 (必ず大人2人で、同じペースで作業してください)

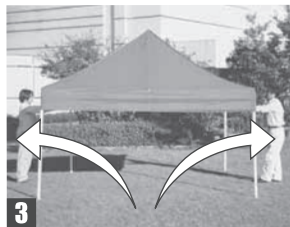


①支柱を両手でつかみ、テントを持ち上げながら後退します。

注)二人とも同じペースで進めてください。

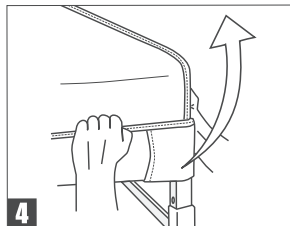


②しゃがんで、矢印の部分(ステッカー貼付位置)を握ります。

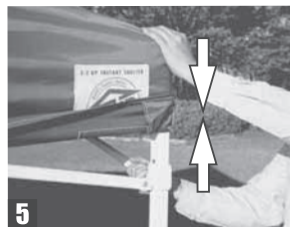


③フレームを宙に浮かせて、全開になるまで後退し、全開になったら静かにおろします。

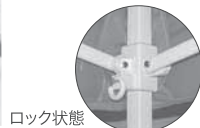
注)少し揺らしながら後退してください。



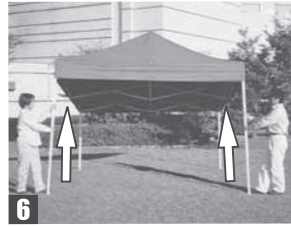
④一人がフレームを支え、もう一人が次の工程に移ります。まず、天幕の角をめくりあげて…



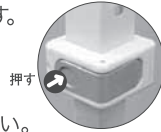
⑤支柱上部を左手で押さえつけながら、右手で矢印部分を押し上げ、スライダーを全てロックします。



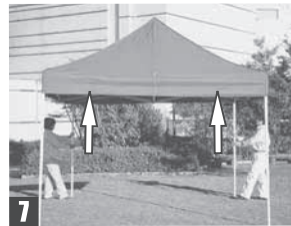
ロック状態



⑥支柱下部の付根プレートを踏みながら、支柱上部を握り、持ち上げます。



高さはL型ロックで調整してください。



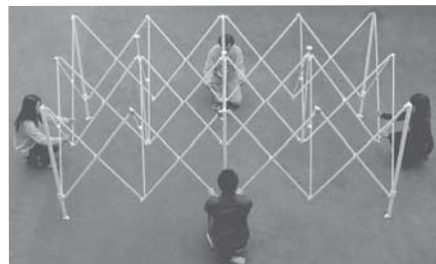
⑦反対側も持ち上げて完成です。傾斜や段差のある所では、支柱の高さをそれぞれ調整して、テントを水平に保ってください。

3.0m × 6.0m 設営のコツ

3.0m × 6.0mは、必ず大人2人が4人で設営してください。それ以外の人数での作業は、逆に設営が困難になります。



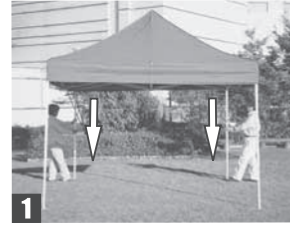
4人でコーナー支柱を握り、フレームを少し広げます。



各自ポジションを変えて、本ページ②以降の工程で設営します。

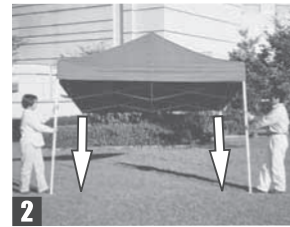
⚠ 必ず、風対策をしてご使用ください。

STEP3 収納 (必ず大人2人で、同じペースで作業してください)

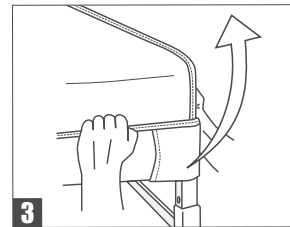


①支柱の高さ調整用L型ロックを押しで…

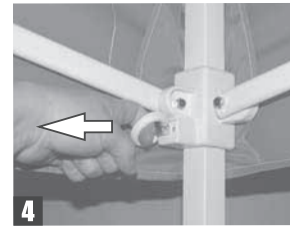
注)L型ロックに負荷がかかっていると押しにくいので、支柱を少し宙に浮かせてください。



②片側を引き下げで… 反対側も同様に引き下げ、全ての支柱を縮めます。

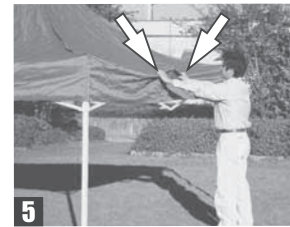


③天幕の角をめくりあげて…



④スライダーのプルピンリングを引っ張って、ロックを解除します。

注)ボタンに負荷がかかっていると引きにくいので、少し揺らしながら引いてください。



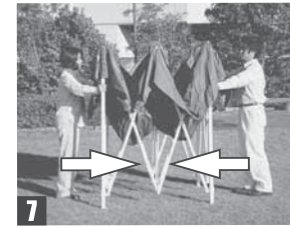
⑤矢印の部分を持ち上げ、軽く揺すりながら前進します。

注)テントは完全に宙に浮かせて前進してください。



⑥半分程度閉まったら、テントを静かに下ろしてください。

注)このまま半分以上進むと、指を挟んで、怪我をする恐れがあります。



⑦支柱を握り、テントを持ち上げながら、中心部に向かってゆっくり押し込みます。

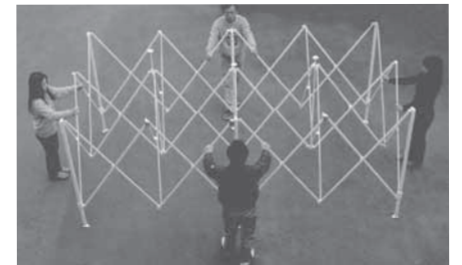


⑧収納カバーを上からかぶせて収納完了です。

注1)平坦な場所に立てて保管してください。
注2)収納カバーはフレーム全体を覆うものではありません。フレームの脚は一部露出します。

3.0m × 6.0m 収納のコツ

3.0m × 6.0mは、必ず大人2人が4人で収納してください。それ以外の人数での作業は、逆に収納が困難になります。



4人で図のようにトラスを握り、フレームを完全に注に浮かせ、少し揺さぶりながら、前進します。



CAUTION

すべての商品に関するご使用上の注意です。

❗ 注意・警告 ✕ 禁止事項 ? ご案内

❗ 悪天候時の破損には保証がききません。

本テントは簡易利用を目的として設計されており、常設には適していません。風対策品をご活用いただいても、強風・豪雨・雷・降雪時など悪天候の場合は、テントが破損する恐れがありますので、ご利用はおやめください。天候不順が原因で破損したテントのクレームは一切保証がききませんので、あらかじめご了承ください。



❗ 強風では使用しないでください。

目安として、ビューフォート風力階級の[6]がそれ以上の状況では使用しないでください。なお、[5]がそれ以下の場合でも、突風によりテントが飛ばされないう、風対策は必ず行なってください。



ビューフォート風力階級			
風力階級	風速(m/s)	地表物の状態(陸上)	使用可否
0	0.0≦0.2	静穏。煙はまっすぐに昇る。	◎
1	0.3≦1.5	風向きは煙がなびくのでわかるが、風見には感じない。	◎
2	1.6≦3.3	顔に風を感じる。木の葉が動く。風見も動きます。	◎
3	3.4≦5.4	木の葉や細い小枝がたえず動く。軽く旗が開く。	◎
4	5.5≦7.9	砂埃がたち、紙片が舞い上がる。小枝が動く。	◎
5	8.0≦10.7	葉のある灌木がゆれはじめる。池や沼の水面に波頭がたつ。	○
6	10.8≦13.8	大枝が動く。電線が鳴る。傘はさしにくい。	✕
7	13.9≦17.1	樹木全体がゆれる。風に向かっては歩きにくい。	✕

❗ 初回使用時は天幕をフレームに固定する必要があります。

天幕とフレームは、別々になってお届けします。3.0m×6.0mモデルはフレームがAとBに分かれていますので、合計3個口となります。



初回使用時は、設置前に天幕をフレームに固定する作業が全モデルに対して必要です。15～30分ほどかかります。詳しくは取扱説明書をご覧ください(6.0mはフレームの組み立ても必要です)。



✕ テントを寝かせたまま保管・運搬しないでください。

フレーム開閉は、必ず決められた箇所を握って行ってください。天幕をフレームに固定した後は、面倒な収納・設置ごとの天幕脱着は必要ありません。ただし、テントの保管及び運搬は、常に立てた状態にして行ってください。テントを寝かせたまま保管及び運搬をしますと、天幕生地が傷んで穴が開く恐れがあります。寝かせたまま保管及び運搬をされる場合は、あらかじめ天幕をフレームから取り外してください。



? 返品交換は速やかにお願いします。

商品到着後 8 日以内に、商品に問題がないかご確認ください。期間を過ぎてからの返品交換はお受けできません。

❗ 仕様・価格を変更する場合があります。

仕様・価格変更及び商品の廃盤については、予告なしに行なわれる場合があります。また、ご購入される商品は、色・仕様などがカタログに掲載されている内容と異なる場合があります。

❗ 安全上必ずお守りください。

●テントは、ロープ、杭、重りなどで地面に固定してください。固定されていないと、突風などによりテントが飛び、人や物に当たって、危害や損害を与えてしまうことが想定されます。
※支柱には必ず杭を打ち付けるなどの風対策を行ってください。



※地面がコンクリートなどで杭が打てない場合は、別売りのウエイトバッグを活用してください。



●設置時は必ずユーザーが付き添ってください。
●天幕に雨水が溜まらないという保証はできません。
●支柱に砂が付着したまま収納すると砂が支柱内部に入り込み、可動できなくなります。したがって、砂は水で洗い流して、乾かした後、シリコンスプレーを吹きつけ、メンテナンスをしてください。



●可動部分が多いフレームは、定期的に簡単なメンテナンスが必要です。

●フレームは海水対応の処理が施されていますので、海辺での使用後は念入りな水洗いと、シリコンスプレーの吹きつけによる保護対策が不可欠です。

●勢いよく設置や収納を行ったり、フレームを握る箇所が適切でないと、フレームに指を挟み、怪我をする恐れがあります。フレームの開閉は急がず静かに行ってください。

●天幕が発火して、やけどをする恐れがありますので、テント内やテント近辺で火気は絶対に使用しないでください。また、横幕でテントを密閉して、内部で火気を使用すると一酸化炭素中毒を起こす恐れがあり危険です。

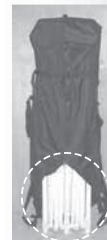


●テント本体に荷物を吊ったり、物を掛けたりして荷重をかけないでください。テントが破損・欠損して事故につながる恐れがあります。

●アルミフレームを含めて、フレームの一部、もしくは殆どが鉄製なので、電線などに触れると感電する危険性があります。電線などからは遠ざけて設置してください。



●キャリアバッグ使用時、フレーム脚の地面に当たる部分は、露出して立脚してください。キャリアバッグで囲んだままのフレームは不安定で、倒れやすく怪我をする恐れがあります。



●天幕のメンテナンス: 天幕が汚れたらスポンジと水で薄めた中性洗剤で軽く洗ってください。工業用洗剤を使用すると、天幕生地の防水膜が剥離する恐れがあります。

